

■評価項目一覧(提案要求事項一覧)

提案書の目次		得点配分			評価基準	
大項目	中項目	合計	基礎点	加点点	基礎点評価の観点	加点点評価の観点
1 事業の目的、内容、および実施方法	1.1 事業目的	5	5	—	・事業の目的が、仕様書等に記載されている本事業の目的と合致しているか	—
	1.2 事業内容	15	5	10	・事業の内容が、仕様書等に記載されている事業内容と合致しているか	・事業の内容が具体的に記載されており、実現性を判断しやすい内容となっている ・本実証の成果を将来的な運用拡大や地域展開につなげる視点が示されているとともに、実装を見据えた運用方法や留意点の整理がされている
	1.3 事業実施方法	25	5	20	・事業の実施方法が、事業目的、事業内容と整合しているか	・実施方法が具体的に記載されており、実現性を判断しやすい内容となっている ・実証精度を高めるための段階的検証等が示されている ・船上又は水上からの離発着を含む海上でのドローン運用手順が具体的に示されている ・実証環境に特有のリスク（天候、波浪、通信不良等）に対する安全対策やリカバリー策が具体的であり、海上環境における通信及び映像伝送の安定化に向けた工夫が示されている
2 事業実施計画	2.1 事業実施計画	25	5	20	・事業実施計画に、事業を適切に実行する根拠（人員・手順等）が示されているか	・事業実施計画に、仕様書等と合致して以下の内容が示されている － 事業期間 － 内容ごとの実施期間とマイルストーン、報告時期（必要な場合） － 事業実施手順について、漁業者との連携や海上環境を踏まえたうえで、効率的に実施するための工夫がある ・手戻りが生じない管理手法を採用している （定期的に当機構と打合せし方向性をすり合わせる、PDCAサイクルを構築する、など）
3 事業実施体制	3.1 事業実施体制・役割分担	25	5	20	・事業の実施体制図及び役割が、事業内容や事業実施計画と整合しているか ・要員数、役割分担が明確か ・事業遂行可能な人数が確保されているか	・当機構からの要望等に、迅速且つ柔軟に対応可能な体制を備えている ・欠員が出る等、不測の事態が生じた場合でも、継続して事業を実施できる体制である （欠員と同程度のスキルを持った人員をアサインできる、事業の進捗状況を組織内で共有しており他人への引継ぎが容易である、など） ・漁業者、関係機関等との連携体制や緊急時対応体制が具体的に示されている ・情報管理体制が適切に整備されている
	3.2 組織としてのネットワーク・人的基盤	15	5	10	・組織として、事業内容に関する専門知識・ノウハウ等があるか	・組織として、類似事業実績がある ・組織として、事業内容に活かすことができる専門知識・ノウハウ・ネットワーク等がある
	3.3 事業従事予定者の専門性・類似事業実績	15	5	10	・事業従事予定者に、事業内容に関する専門知識、ノウハウ等があるか	・事業従事予定者に、事業内容に活かすことができる類似事業実績、専門知識、ノウハウ、資格等がある ・実証環境での飛行や安全管理に関する経験・資格を有する
	3.4 事業遂行のための経営基盤・管理体制	20	5	15	・一定以上の資金・設備を有している ・従業員数に対する資本金が常識的範囲内であり、調査端末（PC等）がある、など ・事業を遂行する部門の他、管理部門、内部統制部門等があり、管理、統制されている組織であること ・情報管理に関する社内規程がある、情報管理に関する資格を取得している等、情報管理体制があること	・情報管理について公的な資格（ISO認証等）を取得している ・経理処理・管理の体制が確立している （社内別組織として整理している、経理処理システムを導入している、帳票類の管理・保管ルールがある、など） ・情報セキュリティに関する社内規程の整備、アクセス制御、ログ管理、事故時の報告体制の有無、社員教育など、組織的かつ継続的な管理体制を取っているか

145 40 105